

平成22年度 第1回愛媛県公共事業評価委員会 議事録〔要旨〕

1 開 会

2 開会挨拶

3 愛媛県公共事業評価委員会設置要綱の改正等についての報告

- ・事務局から改正内容（交付金事業を再評価の対象とする等）について報告

4 委員の紹介

5 委員長の互選及び副委員長の指名

- ・委員の互選により柏谷委員を委員長に選出、柏谷委員長から青野委員を副委員長に指名

6 審 議

(1) 市町等審議付託の適否

- ・市町等から付託要請のあった次の事業についても本委員会で審議する。
(全員異議なし)
- ・住宅市街地総合整備事業〔江之元地区〕（四国中央市）

(2) 審議方法

- ・審議対象事業が3事業であるため、全て個別審議とする。

(3) 個別審議

・道路改築事業〔(国)197号八幡浜道路〕

< 審 議 >

【道路建設課】

- ・地域の概要、事業概要及び事業経緯、事業の必要性及び整備効果、事業の進捗状況及び進捗の見込み、事業の投資効果、コスト縮減や代替案立案等の可能性、対応方針等を説明。

【関委員】

- ・公共事業費の減少により完成時期が遅れ、平成30年度完成となっているが、これ以上、遅れないようにできるのか。

【道路建設課】

- ・今後の道路事業費は非常に不透明な状況ではあるが、土木部の重点事業として優先的に予算配分しており、平成30年度の完成を目指している。

< 審議結果とりまとめ >

【柏谷委員長】

- ・本事業については、県の対応方針のとおり「事業継続」としてよいか。
(全員異議無し)

・総合流域防災事業〔(二)界谷川〕

<審議>

【河川課】

- ・ 流域の概要、事業概要及び事業経緯、事業の必要性及び整備効果、事業の進捗状況及び進捗の見込み、事業の投資効果、コスト縮減や代替案立案等の可能性、対応方針等を説明。

【中矢委員】

- ・ 潮位の影響を受けるということであるが、想定氾濫区域や計画断面は潮位の影響を考慮したものであるのか。

【河川課】

- ・ 海水面が満潮になったときに、計画の流量が流れるように計画している。

【長井委員】

- ・ 進捗率が8割程度までいっているのに完成が平成30年度ということであるが、完成までにはまた何度か浸水被害が発生する可能性もあるため、もう少し効率的に早く完成させる工夫はできないか。

【河川課】

- ・ 公共事業費が削減される中で、浸水被害が多発しているような箇所を重点的に整備するなど箇所の絞り込みを行っており、工法についてはコスト縮減を図ることで、目標の平成30年度の完成に努めたい。

【三好委員】

- ・ 全般的な話として、県の公共事業の優先順位はどのようにして決めているのか。

【事務局】

- ・ 経済性や施工性等を総合的に考慮し、県民の安全・安心にかかわる事業を重点的に実施している。公共事業費が削減され予算が減少している中で、選択と集中ということで箇所の厳選を行い、コスト縮減を図りながら事業の進捗を進めている。

<審議結果とりまとめ>

【柏谷委員長】

- ・ 本事業については、県の対応方針のとおり「事業継続」としてよいか。
(全員異議無し)

・住宅市街地総合整備事業〔江之元地区〕

<審議>

【四国中央市】

- ・ 地区の概要、事業概要及び事業経緯、事業の必要性及び整備効果、事業の進捗状況及び進捗の見込み、事業の投資効果、コスト縮減や代替案立案等の可能性、対応方針等を説明。

【矢川委員】

- ・ コミュニティ住宅とはどのようなものか。
- ・ 高齢者の方が多いということであるが、高齢の方には2階建ての2階に住居を持つというのは非常に住みにくい環境であるが、どのように検討しているのか。

【四国中央市】

- ・ コミュニティ住宅は、本事業を推進する中で道路整備のために移転することとなっ

た方が、江之元地区に住むための市営住宅である。

- ・ 2階建ての住宅では、若い人が2階で高齢者が1階に入居しており、今年建設した住宅については、すべて平屋建てでバリアフリー化を行っている。

【三好委員】

- ・ 整備前に住んでいた方が地区外に移転した場合、移転先の代替地の費用も事業費に入っているのか。

【四国中央市】

- ・ 入っている。

【関委員】

- ・ コミュニティ住宅を廃止したエリアについては、利用目的を変更して使用する予定はあるのか。

【四国中央市】

- ・ 幅員 10mのシンボルロードを延長し市道に接続させ、廃止したエリアを含む一体を密集地の代替地とすることを、本事業外で検討している。

【長井委員】

- ・ ここは漁師町ということであるが、若い人が後継者にならなかつたり、高齢化も進んでいるということで、事業完成時に、ここに残る人が少なかったということにはならないか。
- ・ 産業としてこの漁業は成り立っていく見込みはあるのか。

【四国中央市】

- ・ 現在、家が老朽化しているためアパート暮らしをしている高齢者の子や孫が、事業により住宅の建て替えが可能になったため、ここに帰ってくる条件が整うことになる。
- ・ 近くに寒川の漁業組合があり、若い人もいる。

【柏谷委員長】

- ・ ここは漁村集落ですが四国中央市の中心市街地にかなり近いので、市内の工場や店で働く方も結構多いと思う。
- ・ 当事業は地域の住民福祉という観点が強力な事業であり、行政の努力と住民の盛り上がりを整わないと事業化できないため、全国的にも非常に珍しい事業である。費用対便益の効果で評価するには辛いところもあるが、住民福祉の観点から努力されていると考えている。

<審議結果とりまとめ>

【柏谷委員長】

- ・ 本事業については、四国中央市の対応方針のとおり「規模の見直しによる事業継続」としてよいか。
(全員異議無し)

7 閉会挨拶

8 閉 会